「五つの様相」展

会期：前期 10 月 20 日（木）～11 月 6 日（日）
出品作家：「原田丕」「池田緑」
後期 11 月 17 日（木）～12 月 4 日（日）
出品作家：「菅沼稔」「望月厚介」「小林ナオコ」
開館時間　12：00～17：00
休館日：月・火・水曜日　入館料：300 円

油彩　350×530 ㎝　2016 年制作　タイトル「No,1616」

菅沼　稔

明るさの中にある暗さを求めて？ / 記憶される映像？ / 嫌らしさ漂うニュアンス？ / もう少しだ、というのに何を躊躇するのか。そうしている間に沈んじゃうぞ。

略歴
2016　ARIO 参加（アーティストレジデンスイン小田原）
2001 ～ 02　文化庁派遣芸術家在外研修員として欧州滞在（主にスペイン）
1998　アーティスト イン レジデンス（フランスマゼレールセンター、ベルギー）
1976　東京藝術大学大学院美術研究科版画専攻修了
1974　東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
■グループ展
2014　星座的布置展（上野の森美術館）
2011　波浮港国際現代美術展（東京、伊豆大島、2012）
2010　日越現代美術展 2010（国立ホーチミン市美術博物館、ベトナム）
2008　バーラトバーバン国際版画ビエンナーレ展、名誉賞受賞（インド）
2007「DOMANI 明日展」（文化庁主催、損保ジャパン東郷青児美術館）
2004　開館 15 周年記念「イメージをめぐる冒険」展（横浜美術館）
2000　第 29 回現代日本美術展、横浜美術館賞（東京都美術館、京都市美術館）等
■個展多数

望月厚介

「このところ描くことの意味、刷ることの意味を考え続けている。最も単純に制作している、それは毎日飯を喰うように、毎日眠るように、ほとんど同じ行為と思っている。」

1948 年　静岡県生まれ
個展、グループ展
2000 年　「日本―現代のヴィジョン」展　招待出品　（スルメールミュゼ・南フランス）
2002 年～ 11 年　高知国際版画トリエンナーレ（井野町紙の博物館・高知）
2003 年　ジョール国際版画ビエンナーレ　招待出品（ハンガリー美術館巡回・ハンガリー）
ソウル国際版画ビエンナーレ（スペースソウル・韓国）
「温度差 7℃」SAKURA　FACTORY ／ BOX・KIOKU ／ギャラリー繭蔵　（青梅・東京）
2004 年～ ‘05　CIGE　中国國際画廊博覧会　（北京国際科技会中心・中国）
2005 年～ ‘07　SIPA　ソウル国際版画アートフェアー　（ソウルハンガラム美術館・韓国）
2009 年　IMPRINT ／現代版画コレクション展（マガシネットギャラリー・スウエーデン）
2011 年　「日本―ベルギー国際版画交流展」京都芸術大学（@ＫCUA ギャラリー・京都）
（To）BREAK 日本とドイツを繋ぐ展　（シュレースビッヒ～ベルクラム・ドイツ）
2014 年　「ＨＡＮＧＡ」展　セントニクラス市立美術館　（セントニクラス・ベルギー）
2015 年　「版画のみらい」展　宇フォーラム美術館　（国立・東京）

主な収蔵先／　町田国際版画美術館、エジプトカイロ美術館、東京多摩市役所、韓国版画協会、福島県矢吹町芸術の村企画展示室、帯広六花亭製菓株式会社、極東産業株式会社、羽村市松林小学校、宇フォーラム美術館、農業法人藤野クラブ、ワルシャワファインアート　アカデミー他

「積層B―R40」
シルクスクリーンプリント
木製パネルに和紙
2016年制作
サイズ：M40

タイトル　標本 0℃
技　法　インスタレーション
素　材　中津川の水、砂利、LED、ポリエチレンなど
制作年　2014

小林ナオコ

ほんの少し気持ちがプラスの方向に動くためのスイッチや、違う時空にトリップするための入口のような作品を作りたいと思っています。

経歴
［個展］
2010　Emergence―出現―（四谷ランプ坂ギャラリー）
2011　Specimen―標本―（ギャラリー檜 Plus ／京橋）
2013　Specimen　II―標本 II―（ギャラリー檜 Plus ／京橋）
2014　標本　0℃（ギャラリー彩園子／盛岡市）

［グループ展］
2012　波浮港国際現代美術展（旧波浮小学校／大島町）
国際野外の表現展（東京電機大学／埼玉県比企郡）
2013　アーチストセンター展（東京都美術館）
滝沢アートフィールド（相ノ沢キャンプ場／盛岡市）
現在進行形野外展（原峰公園／多摩市）
我孫子国際野外美術展（宮の森公園／布佐市）
2014　アーチストセンター展（東京都美術館）
アートアイランズ TOKYO（椿公園／大島町）
2015　DFEWA Ardud 2015（アルドゥド城ギャラリー／ルーマニア）
現在進行形野外展（原峰公園／多摩市）